

令和6年度 友泉亭公園・楽水園・松風園 事業評価表

【 指定管理者名 安藤造園土木株式会社 】

各項目の評価基準

評価	評価	提案事項	管理水準
5	10	提案事項を実行し、優れた成果を発揮している。加えて新規事項など評価できる取り組みがある。 (成果指標達成項目数80%以上かつ、新規事項など評価できる取り組みがある場合)	本市が求める管理水準よりも優れた成果をあげている。
4	8	提案事項を実行し、優れた成果を発揮している。 (成果指標達成項目数80%以上)(標準レベル)	本市が求める管理水準を達している。(標準レベル)
3	6	提案事項を実施している。 (成果指標達成項目数50%以上80%未満)	一部、本市が求める管理水準を達していない。
2	4	提案事項を実施したが期待した成果が得られていない。 (成果指標達成項目数50%未満)	ほとんど、本市が求める管理水準を達していない。
1	2	提案事項遂行していない。 (提案事項を遂行していないことに正当な理由がない)	公園管理上著しい失態があるなど、本市が求める管理水準を達していない。

評価	総合点
A	85点以上
B	80点以上85点未満
C	70点以上80点未満
D	70点以上60点未満
E	60点未満以下

項目	配点	備考	委員会評価	
			評価点	コメント
(1)利用者サービスの向上策	20		18	
① 高齢者・障がい者・乳幼児などの社会的弱者や、その他顧客のニーズに応じたサービス向上のための取り組みができていくか。	10	提案事項	10	大学生を招いての公園の成り立ちを学ぶ勉強会や、NPOと連携して子どもを対象とした茶道教室の実施など日本伝統文化を若い世代につなげる取り組みを行った。
② 利用者のニーズ把握のための調査への取り組みができていくか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
③ 条例・公園管理マニュアルを理解し、利用の承認(優先利用を含む)について適正に実施しているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(2)利用者の適切利用に向けた取組	5		5	
④ 利用者の適正利用に向けた取組ができていくか。	5	提案事項	5	外国人観光客が増える中、茶道の礼儀作法に準じたマナー啓発を行った。
(3)公園施設の適切・効率的な維持管理	25		21	
⑤ 提案の内容に適した維持管理計画ができていくか。	15	提案事項	13	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑥ 安全管理計画・緊急対応(災害・事故等)計画・保安整備計画ができていくか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑦ 実施協定書に記載されている管理頻度は達成されているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(4)公園の特色を活かした事業展開	15		15	
⑧ 指定管理者企画事業による施設の活用はされているか。	10	提案事項	10	日本の伝統文化が経験できる多くの企画事業により庭園を訪れるきっかけを提供し、認知度向上につながる取組みを行った。
⑨ 公園特色を活かす取り組み(集客向上策・広報計画)が出来ているか。	5	提案事項	5	新聞、テレビ、ラジオ、SNSなど効果的に広報していることでSNSのフォロワーが増え、来園者増加につながる取組みを行った。
(5)運営体制と人材の確保	25		19	
⑩ 配置する予定職員の公園管理に必要な専門性・資格や経験職員の育成に必要な研修を行っているか。	10	提案事項	8	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
⑪ 地域との連携	5	提案事項	5	地域のワークショップや各種イベントに参加し、地域との交流に力を入れて取り組んだ。
⑫ 市担当者の指示又は協議事項を確実に実行しているか。	5	管理水準	3	市への提出書類に関して、回答遅延が見受けられる。
⑬ 協議録・日報・報告書等の関係書類が整理されているか。	5	管理水準	3	払込遅延など、歳入の処理に関するミスが複数回あった。
(6)施設の管理運営に要する経費	5		5	
⑭ 施設管理に要する経費の削減について、申請者が運営費見積提案書で提示した指定管理料の額、及び削減の具体的項目、実施手法はできているか。	5	提案事項	5	企画事業で利用者の満足度を向上させていることに加え、収益を維持管理に還元した。
(7)団体の財務的基礎	-	-	-	
⑯ 借入金依存度	-	-	-	
自己資本比率	-	-	-	
(8)社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮	5		4	
⑰ 社会的貢献とコンプライアンス、環境への取り組みができていくか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)
(9)その他	-	-	-	
評価 総合点			87 /100点	(評価) (4)公園の特色を活かした事業展開について、庭園の利用者は、旅行者・婚前期前・高齢者が多い。若い世代が庭園へ行くきっかけや日本の伝統文化を知るきっかけとなるよう、大学生や子どもを対象とした企画事業や学校への出前授業を行うことで、認知度向上に努めている点が評価できる。また、3庭園一括管理していることにより、利用者に対し各庭園の特性を案内できている点や同じレベルで維持管理ができていく点が評価できる。 (課題) マナー啓発には取り組んでいるところであるが、インバウンド増加によりマナーや施設の利用に関するトラブルが発生する可能性があるため、未然に防ぐことができるような対策が必要である。 払込遅延や市への提出物遅延については、担当を分担してフォローし合う体制を構築するなど、個人の責任ではなく組織としての対応が求められる。